

第 17 回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・P T A・コミスク部会（会議録）

会議の名称	第 17 回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 環境整備・P T A・コミスク部会
開催日時	令和 7 年 3 月 11 日（火） 午後 7 時 00 分から
開催場所	山岡振興事務所 2 階 大会議室
議題	課題 N o . 10 「通学路の安全対策に関すること」 課題 N o . 12 「看板、案内標識の整備に関すること」
報告	部活動について 次回の部会について
公開非公開の別	公開
出席者	委員 若森 慶隆 安藤 常雄 三宅 勝彦 後藤 純一 阿部 秀樹 平林 将人 中村 光代 永田 満依子（ZOOM 参加） 長谷川 一行 園原 正明 片桐 慎一 細江 幸次 後藤 理恵 伊藤 亜弓 中田 憲（ZOOM 参加） 塚田 茜 大石 佐緒理 佐藤 美保 教育委員会 丸山 頼彦 小栗 研 横田 洋平 長谷川 椋 小野 千恵実
会議の内容	会議録のとおり
傍聴者の数	1 名

部会長 みなさんこんばんは。先日、工事をしている学校へ行ったところ、工事もいよいよ本格化しようかというふうなところですので、こうして皆さんが検討していただいたことが一歩ずつ前進というか、形となって現れてきていることを本当にうれしく思っています。

今日は、事前にその話がありましたけど、お配りした資料の中で、まず最初に事務局のほうから説明をいただいて、その後で協議のほうに移りたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。簡単ですが、挨拶にかえます。

事務局 ありがとうございます。では、前もってお配りさせていただいております資料のほうですけれども、こんなふうな物事の進め方をしますよということを書いたものと、今まで何度か部会をやった中でも、道路のことについて発言のあったことを少しまとめたもの、それと通学路安全推進協議会の内容が書いてあることと、最後に平面図があったかと思います。まず、その平面図のことを少しご説明させていただいた後に、今日の議題のほうをグループごとで進めていくということにさせていただきたいと思います。

この平面図と書いてあるものは、地図の真ん中の位置にあるのは山岡こども園の位置になります。図面の左下、道路が書いてあります。左下から上がってきて、左に上がって、このB&Gがあるところをぐるっと上っていった奥が、今の山岡中学校になっているところを、この黄色と赤で書いたところが新しく造る道路になります。以前、場所のご案内は確かめさせていただいておりますが、図面として今回出したものが初めてになろうかと思います。

現場のほうでは、実はもう既に工事が始まっております。ここで行きますと、左上の横断歩道の絵が書いてあるところからぐねぐねっと曲がって、山岡中学校に上がっていくところなんです、そこを先行して今工事が始まって、現場では山の木を今切っている状態です。これが終わると、この先に道路を造るための土地を確保するために、山を削っていくという作業になろうかと思います。そんなふうに現場は動いているということと。

ここの図面で行きますと、これ右側のほうに標準断面図と書いてあります。左側に歩道があって、2メートル75センチの道路が2つあるということは、2車線の道路ができると、こういう絵になります。ですので、ぐるっと囲むように、ここで行きますと、黄色で塗ってある部分が歩道の部分になりまして、それ以外は車が走る道路と、こういう道路が今、建設が始まったというところになります。

今まで学校に上がっていくと、結局そこへ行っても、またその道を戻ってこなければいけないよね。多分、たくさんの車が来ると、行き来でやはりなかなかうまく通り抜けができないんじゃないかということがあったことを解消したいということで、ぐるっと囲むように道ができています。ということは、例えば右回りとか左回り、2車線になるので、前よりずっと走りやすいのですが、そういうことを減らすために大きく道を造り始めたというものになります。歩道も整備していくということで、学校までの歩道を造っていくということになります。今回、これを造ることによって、学校周辺の混雑はものすごい改善ができ

るかなということで、今進めているというところになります。前もって全体でご説明させていただきました。

この後、それぞれグループごとにまた僕ら職員も入りながら話を進めていきたいと思いますが、今日はどういうふうに話を進めていこうかなというところで、お配りした資料の中に、今まで部会で出ている意見としての通学路の課題というのを7項目ほど掲げてある、これをたたき台にしながら、今までもこんなようなご意見も出ていたよねということ、それを基にまだ多分皆さんの中でもこういうことがまだ課題じゃないのというところもあるかと思いますが、その辺のご意見を出し合いながら、安全に登下校ができるということの心配事とか課題を挙げていきながら、これをどうしていったらいいのかなというところは、それぞれのテーブルに職員がつかますので、ちょっと進め方をお話ししながら、グループ協議をさせてもらえばなと思っております。

まず初めに、このようにご説明だけ差し上げました。よろしくお願いいたします。

部会長 今、3グループに分けていただいていますので、それぞれのグループでこの課題10と課題12の協議ということで入っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(グループ協議)

事務局 よろしいですかね、一旦それぞれで出た意見とか考え方というのを今回はうちの職員の事務局側でまとめて話をしてもらおうようにしたいと思います。

では、いつも端っこからいくので、今日真ん中から。

中学校グループ

中学校グループで出た意見です。

まず1点目ですが、今年大雪が降った時期がありまして、自主運行バスが動かなかったということもお聞きしました。県道や市道の安全確保のために融雪剤を頻繁にまいてほしいんだと。今は生活道路かもしれませんが、今後通学路としても使われますので、そういった安全対策をしてほしいという意見が出ました。

ちょっとこれ難しいかもしれないんですけども、道路へのスプリンクラー、大雪の地域によくある、を豪雪地域というか、雪がなかなか解けない道にあるとよりいいかなという意見がありました。

続いては、バス停付近に今、すごく暗い時間帯がありますので、バス停付近には街灯があるといいなという意見もございました。

あとバスのことでいきますと、今、運行している上矢作や明智にあるバスはどうなるのかということと、16台運行しますけど、日中そのバスはどうしますかというような話もありました。

道路ができますよという地図を見ながら、実際にこども園の車のルールとか中学校へ上がってくる車の動線はどうなるのかと。ある程度やっぱりルールを決

めないと事故につながってしまうので、そういったことを早めに周知とか協議できるといいかなと思いました。

運行時間帯、16台のバスが一度に来るのかという不安の声もありましたので、時間をずらしたりとか、うまくバスから乗降できるような形で何とかやりたいなと思っています。

あとは中学校への行く途中ですね、明智からとか来ますと、JAで曲がるのか、信号で曲がるのか、2つの路線があるかなと思いますが、JAで曲がったほうが確かに近いかもしれないですけど、その先には通学路の課題の2にあります十字交差点、一時停止がありますので、そこを渡らせるのか、信号まで行って安全に曲がるか。ただ、信号の場合は今は1車線しかないので、右折車がずっと待ってしまうと渋滞してしまうので、もしそういったルールを決めるのであれば、右折専用の信号があるとよりいいのではないかなという話がありました。

最後、今、中学生におかれましては、工事の関係で教室内も道路も制限がありますので、今回始まる道路もそうですね、そういった工事に関しましては、随時連絡をしていただけると安心できるのかなという意見がありました。

看板のことは、進め方どおりでいいんですが、主要な場所、例えば岩村から上矢作から来たときに山岡に曲がる交差点があると思います、T字路の。あそこにこちら恵那南中みたいなものがあるとより分かりやすいかなということで、今ある看板だけでなく、主要なところにもあるといいかなという意見が出ました。以上です。

事務局 ありがとうございます。

次は、小学校さんに行きますか。

小学校グループ

小学校のほうでは、凍結の恐れとかというのがありましたけれども、優先的に融雪剤をまいてほしいといったこと。街路灯についてですけれども、自治会で負担することになるんですけれども、これを追加で補正をされるような予算をつけてもらうとか、そういったことで通学に関することというについて意見がありました。

また、学校から、図面にある区域ですね、これ自転車通学の中でいくと、かなり坂になるんですけれども、登下校の生徒の心配という意見があったんですけれども、現在、山岡中学校ではデイサービスセンター、そこから学校までの間は自転車には乗らない、手で押して移動するというルールがありますので、そういったルールを明確にされていますので、それを統一的な明確なルールを作っていただきたいということで意見がありました。

農協と学校前と振興事務所前の交差点、その3か所が特に危険な場所ということで想定されるんですけれども、そこで信号をつけるということだと、建設とかそういったことでもハードルが高い面がありますので、道路管理者のほうで色塗りとかいう対応も可能であるということ。また、舗装で盛り上がってスピードを落とすというような、そういったものなんかですと比較的設置しやすいのであれば、そういったことからできることからやっていく危険回避という

ことで対応していければいいのではないかということでした。以上です。

事務局 ありがとうございます。

こども園グループ

こども園グループの報告をさせていただきます。

こども園グループからは、まずは新年度に入ったら事務局のほうから保護者の方のほうに、今後の通学路に関するスケジュール、こういった形で決まっていって、バスがいつ決まって、バス停がいつ決まって、説明会がいつということを情報としては欲しいという声をいただきました。

交通安全を広く子どもとか保護者に限らず、恵那市の市民に啓蒙してほしいと。そういう意味でとりわけここは通学路ですよということを市民の方にしっかりと認識していただいて、注意喚起をするようなことをしてほしいという意見がありました。

啓蒙的なことでいけば、関連するところで防犯的な目線でもバス停ですとか、そういったところを地域で見守ってほしいというところで、そういった通学路の地域での見守りということも先ほどと同様、地域で通学路ということを経営して見守るような体制を作っていってほしいという意見がありました。

現山岡中学校、今後南中学校になるところで、図面にあったところの道路が朝、保護者の方が送迎の際、冬の時期に道路が凍結してしまって渋滞を起こしたということがあったというところで、そういった凍結する場所については、今後も通学路安全委員会と意見を挙げていっていただくという形にお話としてはなりました。

また、保護者の方の送迎ですとかそういったところで、先ほどもちょっと出ましたが、学校の周辺のルートの使い方というか、こういったルートでこういったところは止まっていいとか、そういったルール決めというのは今後必要だということで決めていってほしいということがありました。

あとは家からバス停というところでいきますと、街路灯というところがやはり不足している箇所があるというところでお話としてはありました。ただ、やっぱり街路灯に関しては、現状もありまして、なかなか欲しい所に潤沢に作るということは難しいということを理解していただいた上で、今後、地域自治体のほうで優先順位を決めながら、通学路ということで地域の方に説明していただきながら、優先順位をつけて検討していきたいというふうなお話がありました。開校後もこういった通学路に対しての不安であるとか、こうしてほしいというご意見があれば、PTAという大きな塊として、こういった通学路安全運営委員会のほうに個人の意見ということではなくて、保護者としてこう思っているんだということで出していくことで通りやすいということもあるので、そういったPTAの中での意見収集の方法というものについても、これはPTAのほうの話になりますけど、課題としてより多くの人の意見を聞いた形で、PTAとして意見が出せるようにしていきたいということでお話がありました。

続いて、看板については、こちらとしては粛々とやっていってほしいということでは言っていました。

事務局 ありがとうございます。今、それぞれ話し合ったご意見等も盛りさせていただいております。どうでしょう、今回、この進み方ということで最初に事前配布した紙の中にも書いてあるんですけども、例えばこれ一つあるのが、市の今学校でもやっている恵那市通学路安全推進協議会という組織があって、毎年ピックアップしながら優先順位をつけて整備をしているという取組は、これはもうずっと以前からやり続けているところです。

こういうのを活用したりとか、例えば地域から出てきたのをここの部分はこういうふうにしてほしいというような安全に対する道路の要望であるとか、そういうのを活用して、もう今回だけで駄目やったからおしまいじゃなくて、もう継続して言い続けていくということが重要なと思っています。だから、そういう仕組みを使って、今後も継続的に安全に通学できるように、引き続きそういう関係者に申出をして、対応していったらほしいということが、何となく今日のご意見のまとめなのかなと思います。

それと、例えばすぐこれはもう市のほうに聞いておく、これはもう何とかできんかなというものは、今日、聞いた中でできるものはもう市の建設課のほうに伝えていくことはもちろんやらせてもらいたいなと思っています。

例えば、融雪剤のまき方がどうかというのは、やっぱりこちらからも提言してみるということではできると思いますので、そんなようなことも可能かなと、今、意見を聞いて思ったところです。

これちょっとなかなかまとめ方ということというよりも、今のような私がお話ししたような今後に向けても継続的に交通安全、通学路の安全に取り組んでいく、これ学校ができてからでも毎年続けていくことですので、こういう取組を継続的にやっていくということを、まずはこの部会での取りまとめた形ということでどうですかね。どう思われますか。

委 員 右折の問題なんかは安全もそうだけど、普通の市民の方に迷惑をかけるというか、ストレスがあるでしょう、お互いに止まっていくわけなので、道路管理者、それから警察もやるでしょう。その辺へつないでもらう、こういうことが心配されるけどと。

事務局 朝の時間帯も多分集中する時間帯がありますよね。

委 員 すぐ出していかなと、多分やってくれると思うんで。

委 員 申し訳ないんですけど、豪雪で通れないとか、当然、雪で変わることもあると思うんですけど、タブレットでズームで授業ができるのか、そういう最悪の場合もこういう対応をしますというのが、保護者に説明をするときにも、電車にしても何かあったときに止めちゃったりする、そういう内容も検討してもらえると。

事務局 そうですね、結局、どうしてもバスが通行できないよといった時に。

委 員 実際に恵那でもある程度そうなんですけど、実際にその役所に連絡したとしても、そこから離れたところでは、雨のところも雪のところもあったりして、対応が遅れる場合もあるんですが、その辺の事情も踏まえて、無理に来なくてもZOOM でできますよということにしてもらえると、ありがたいです。

事務局 この辺は、また学校での通学とか学び方の決まりというか、そういうときはどういうふうに対応していったらいいのかということの対応の仕方を学校として明確にしていくということも大事なかなと思っています。

ほかに気づいた点があれば、どうですかね。

最後、ちょっと私が先ほどまとめたようなことを部会としての方向性だということでもよろしいですか。

事務局 はい、分かりました。では、そういう形でまとめたものとしていきたいと思います。

では、一旦ここで区切らせていただきます。ありがとうございました。

部会長 協議のほう、ありがとうございました。

レジュメのほうで3番の連絡事項等についてお願いします。

事務局 事務局より部活動についての報告を1点させてください。

先月2月28日に恵那南中学校の部活動及び地域クラブについての意見交換会というものを開催しました。それぞれ5中学校の学校から保護者代表の方、それからクラブ指導者の方にご案内しまして、26名の方の参加がありました。種目としては、バレー、バスケ、野球、テニス、卓球、剣道というところ、それから陸上、明智は総合クラブとして明智クラブというところがありますので、明智クラブの方も2名参加していただいて、それぞれ種目ごとに分かれて少し意見交換会を行いました。

意見交換会に入る前に、事務局のほうからまず恵那南中学校の学校部活動が今どんな方向で進んでいるのかということで、話せる範囲は限られているんですけども、原則として今ある5つの中学校にある部活動は、基本的に継続して進めていきますよと。それから、この部会で話し合った子どもたちのアンケートを参考にしながら、新しい運動部活動に加えて文化系の部活動も考えていきますよ。それから、週に一、二回程度は何とか組み込めるようなことで、今全体の構想を考えてもらっています。

ただ、ここには下校時間、特に冬季の明るいうちに子どもたちを家へ帰すというようなことも絡んでくるので、なかなか現実的にはどれくらいになるかというのはまだ示せなかったんですが、今、そういった方向で進めていますということをお伝えしました。

今後は、その部活動が理事会それから総会を経て決まっていきますので、また決まった折には子どもたちに通達をしていきますということでお伝えをしました。

恵那市のスポーツ課のほうからは、令和8年度、これは統合のタイミングと同じ時期になるんですが、令和8年度の4月に恵那市として地域クラブを総括した事務局を作っていきますよという話も併せてしました。地域の方々が国が出している、それから県が出している言葉として、学校部活動の地域移行という言葉が今出ていますので、一部の保護者の方、指導者の方は、学校部活動が全くなくなって全部地域クラブになるのかというような心配ですとか、それから恵那市が令和8年度地域クラブを立ち上げるという言葉を取り上げられた方は、

今やっている保護者クラブがなくなって、地域全体で恵那市が何か総括してやっていくのかというようなご心配もいただいていたので、恵那市の方針として、今ある保護者クラブを母体としながら、それを事務局として支えていくものを作っていきますよというようなお話をしました。

基本的には、今ある学校の部活動は恵那南中になっても継続して入ることができるよということと、それぞれ5つの地域でやっている保護者クラブを母体とするクラブ活動も存続していきますよと。ただし、人数が今減ってきている現状があります。それから、恵南地区だけではなく、西、東、北の地区も単体ではなかなか今クラブができなくなっているのです、そういった同じ種目の方々で集まって話をしたいというお声も聞いているので、まず2月28日にそういった会を開きました。

開いたところ、こちら側の分かったこととしては、それぞれの種目によってやっぱり思いがそれぞれありました。特に、参加者が多かった卓球とバレーのところでは、それぞれ単独で進めていきたい気持ちもあるんだけど、やっぱり団体スポーツとして一つにまとまりたい。けども、一つにまとまると送り迎えが大変になるので、どうしようかねということをそれぞれの方々と話をさせていただきました。終わった時には、こういった会は本当に待ち望んでいたんだと、引き続きまた会を催してもらえとうれしいよなんて声もいただきました。一方で、陸上や剣道やテニスなんかは、今合同チームとして市全体にわたって募集がかかっているところもあって、そういったところの話も聞きながら、まだそういった環境が整ってない種目はどうしていいかということに意見が重なっていくことができました。

それから、それぞれの種目でやってもらっている、特に今山岡のところなんかでいくと、学校の体育館が今使えない状況になっていくので、環境整備がどうなっていくのかとか、備品を管理をどうしたらいいのかとか、市の支援がどれぐらいなっていくのかというようなお声もいただきましたので、引き続きここは話合いの場を持っていきたいなということで会を閉じました。

市のスポーツ課が進めていく市全体の地域クラブという動きもありますし、恵那南地区においては、学校が統合することに絡んで保護者クラブをどうしていくかという話合いもどうしても必要になってくるので、次年度に向けてもまた会を催したいなということで会を閉じました。

以上、報告になりますが、ご承知おください。

部会長

ありがとうございました。

続いて、4項目めの次回の環境部会についてですが、新しい年度になりますので。

事務局

そうですね、今日で今年度の部会はこれで閉じさせていただきたいなと思います。多分、役員が代わられる方もおられるかなとは思っています。新年度に次はなります。恐らく5月のどこかで新しいメンバーでの第1回目という形からまた継続して話合いを進めていくことになります。

今、この部会で次やらなあかんことはというのは、部活動のことです。去年の

うちにいろんな提案をもらって、今、5校の学校のほうでこういうような部活動を作っていて、こういう形で進んでいこうという素案が大体できてきました。それを皆さんのほうにまたフィードバックして、こういう形でいいかねというのをご承認というか、内容を確認してもらおうということから始まってくのかなと思います。

ということと、もう一個はPTAのこともそうですね。検討メンバーを出していただくことになっていますので、それも具体的にこれがどういうふうに進んでいくのというところを、これは検討メンバーで進めていくんですけども、途中途中で必要な時にはご報告していくということになります。

来年度は、今年ほどは、検討すべきことが大体クリアされてきているので、回数はそこまでいかないかなとは想像できますけれども、それでもまだ準備委員会にかけて、最終結論を出していくということの審議をしてもらう皆さんですので、また新たな年度でそれぞれご活躍をお願いしたいなと思っています。

こんなスケジュールになりますので、まだ日程のほうはまた改めてということになりますが、よろしく願いいたします。

部会長 私が締めるのもおかしいので。

副部会長 長いことお疲れさまでした。僕も3月で一応区切りで終わってしまうので。皆さんもこれで終わってしまう方も多いと思いますけど、おかげで先がちょっと見えてきたという感じもしています。いろんなところでいろんな声を聞いていますが、まずは開校できるようにうまく進んでいると思います。ここを離れても、またご協力いただければと思い、最後のあいさつといたします。

事務局 お疲れさまでした。